



桶と樽から知る暮らし

4月23日から旧田中家鋳物民俗資料館で企画展

◎チラシあり

市は、4月23日～7月10日に旧田中家鋳物民俗資料館で、桶や樽を題材にしたちょこっと展(企画展)「木のいれもの～おけとたる～」を開催する。板を箍(たが)で締めた木製容器の桶や樽は、江戸時代から高度経済成長期ごろまで、生活に密接する液体用容器としてさまざまな種類が作られてきた。今回の展示では枚方で使われていた井戸の釣瓶桶(つるべおけ)や底に開閉自在の栓がついた水掛担桶(みずかけたんご)など約20点を展示。担当者は「当時の枚方の暮らしの知恵や桶作りの工夫などを知る機会になれば」と話す。

期間中、展示担当学芸員が展示解説する「土間トーク」や、ちょこっと展で紹介しきれない事柄を話す「学芸員こぼれ話」も同館で開催。展示、関連行事ともに無料。

★展示するのは井戸の釣瓶桶、底に開閉自在の栓がついた水掛担桶、桶の底が平釜になっている風呂桶、子ども用便器のおまる、漬物桶に転用されたと考えられる酒樽のほか、桶づくりに使われた道具など。

★土間トーク(開催日:5月15日・6月18日)

担当学芸員が展示会場で参加者と対話しながら、展示資料やその背景となる人々の暮らし「桶と樽とリサイクルの暮らし」をテーマに解説する。

★学芸員こぼれ話(開催日:7月3日)

資料館学芸員2人が展示周辺の事柄についてスライドを用い、文献資料の桶と樽、桶と樽の材料についてレクチャーする。

★旧田中家鋳物民俗資料館は古くから枚方上之町で鋳物業を営んでいた、田中家の鋳物工場と主屋を移築・活用した資料館。鋳物の歴史や枚方の民具を展示している。現存する江戸時代の鋳物工場は日本で唯一。主屋土間では、学芸員がテーマを定めた小さな企画展「ちょこっと展」を年4回開催している。

<お問い合わせ>

観光にぎわい部 文化財課 旧田中家鋳物民俗資料館

☎: 050-7105-8097 FAX: 858-4665

ちょこっと展

木の いれもの



お け と お た ける



令和4年（2022年）

4月23日（土）～7月10日（日）

学芸員こぼれ話

ちょこっと展で紹介しきれなかった事がらを、学芸員がお話します。

7月3日（日）

午後1時30分～3時
無料。直接会場へお越しください。

どま 土間トーク

土間が展示場のちょこっと展を、学芸員とお話ししながら見学します。

5月15日（日）

6月18日（土）

各日午後2時～2時20分
無料。直接会場へお越しください。

桶や樽は、おもに液体のうつわとして広く用いられました。桶をつくったり修理する桶屋は、町に1軒はあったほど身近なものでした。枚方で用いられたいろいろな桶や樽から、当時のくらしと、つくり方の工夫を紹介します。

枚方市立

きゅうたなかけいものみんぞくしりょうかん

旧田中家鋳物民俗資料館

入館無料。月曜休館（休祝日の場合開館、翌平日休館） 午前9時30分～午後5時（入館は4時30分まで）
電話 050-7105-8097 FAX 072-858-4665 枚方市藤阪天神町5番1号
JR学研都市線 藤阪駅より徒歩7分 <http://www.city.hirakata.osaka.jp/0000002648.html>

